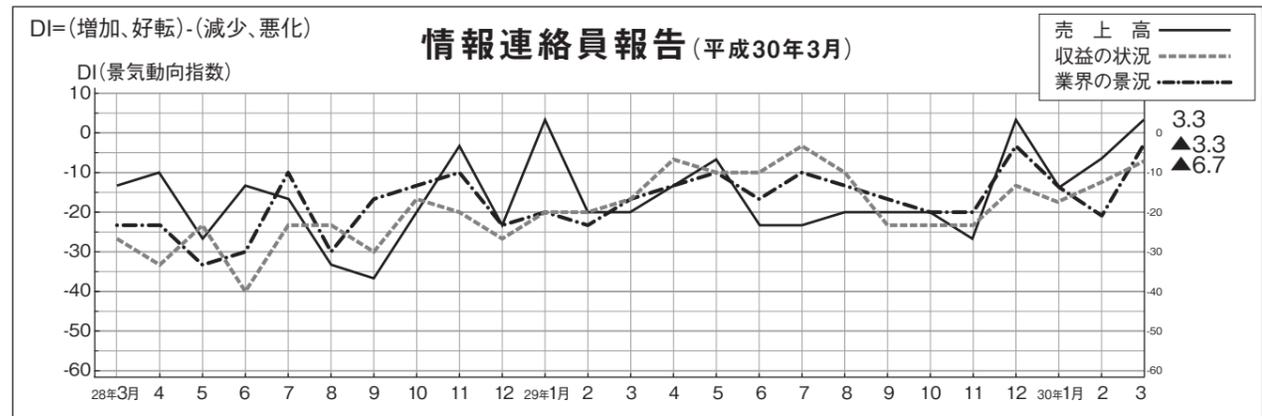


# 情報連絡員報告を中心とした 県内各業界別の動向

## 2018年3月 (前年同月比)



業界の状況 ☀️...好転 ☁️...やや好転 ☁️...不変 ☁️...やや悪化 ☔️...悪化

**食品団地**  
市内の観光関係で好転が見られたが、全般的には足踏み状況。2,3月の首都圏で開催された食品展示会では、中国、台湾バイヤーからの見積もり依頼など引き合いが多く見つけられた。

**生コンクリート製造**  
当月出荷量は前年同月比97.6%で、4~3月の年度累計は91.4%となり、大幅な落ち込み。周辺の市況は回復しつつあるが、高知市地区はなお低迷している。

**酒類製造**  
出荷は県内外ともに減少。特に県内消費の減少が続く。リキュール等については根強い支持が続いている。

**コンクリート製品**  
出荷数量は前年同月比63%。市況は、減少状況が続いている。

**テントシート**  
昨年9,10月の台風の影響による仕事があると思われる。

**機械団地**  
団地内は各業種とも引き続き業況は横ばいで推移している。造船関係では販売価格が上向くなど緩やかな持ち直しの動きが見られる。

**木製品素材生産**  
山間部における積雪の影響も解消し、スギ、ヒノキ共に搬入量は2割増。価格はともに横ばい状況ではあるが、大径材については引き合いが少なく、共に1割程度の上落となった。

**刃物製造**  
職人の減少により生産量が落ち、供給に苦慮しているところである。受注はあるものの、供給が追いつかず困っているのが現状。

**製材**  
大型製材の需要があり、小規模製材の原木が不足気味である。製品の不足感はあるものの、値上がりまでには至っていない。

**船舶製造**  
高い操業度で推移している。

**製紙**  
各社の値上げ発表がほぼ出揃い、値上げの環境が整いつつあるが、予断を許さない状況。中小企業にとっては、死活問題であり、待ったなしの状況まで来ている為、早急な製品値上げを期待する。

**珊瑚装飾品製造**  
3月の製品会取引高は、前年同月比51%であった。ここ数か月、製品会の取引高が減少している。卸小売業の低迷が原因か。景気のいい話は聞かない。

**印刷**  
県内需要は官公需及び民需とも好調に推移。県外需要は業種によって好不調があるが全体ではまずまず。最大の需要期の3月度は前年並みを保った。

**卸団地**  
景気回復は感じられない。採用難が続く、新卒採用は年々厳しくなっている。県内の外食産業では、営業時間の短縮や休日を増やすところが出てきている。

**青果卸売**  
果実は、入荷量の減少率約20%に対し、平均キロ単価の上昇率は15%程に留まったため、予想ほど苦戦はしなかったと感ぜられる。野菜は、入荷量は前年比100%であるが、平均キロ単価が5%ほど下落し、やや苦しい展開だったと思われる。

**商店街(四万十市)**  
盛り沢山のイベントを、どう個店への誘客に繋げるかが課題。また、外国人観光客への対応も喫緊の課題となりそうである。飲食店に関しては、送別会の人出と思われる団体客が昨年よりも多く繰り出していたようであり、4月以降も歓迎会等の人出に期待したい。

**生鮮魚介卸売**  
一般的にカツオ、マグロ、小物の入荷量が少なかった。

**旅館・ホテル**  
「土佐のおきやく」等のイベントもあったが、寒さの影響もあり、観光客の動きが若干鈍かった。

**各種小売(土佐市)**  
良くもなく、悪くもなく、特別な動きは見えない。

**飲食店**  
前月比各種イベントによる県外客の流入や前月が記録的低温だったこともあり全体的に好転。前年度比:人件費や材料代の上昇に対して販売価格は不変だが集客増により売り上げは伸びており、収益状況は好転。業界の景況としてはやや好転している。

**ガソリンスタンド**  
原油価格は、米国経済の先行き不透明などで、バーレル60ドル前後で推移し、為替相場も円高ドル安の定着もあり軟調傾向となっている。元売りの週決め仕切り価格は、上げ下げを繰り返す。全国平均の市況価格については下落となったが、高知県は維持し据え置き市況価格であった。

**旅行業**  
組合クーポン売上前年同月対比85%、全旅クーポンを加味して111%。依然として組合クーポンの売上減少に歯止めがきかない状況であるが、大手旅行会社との契約締結により、売上減少をカバー出来ているのが実情である。

**電気機械器具小売**  
3月度は、全体で、前年比100%。リフォーム関連商品好調。黒物商品、特にCTVが、前年比78%と不振。

**一般土木建築工事**  
平成30年3月分の公共土木生コン出荷量は、前月比89.6%、前年同月比89.9%。平成29/4~30/3累計は、前年累計対比80.1%。防波堤工事や高速道路延伸などの大型工事、南海トラフ地震に対する耐震・防災関連工事は引き続き発生している。

**中古自動車小売**  
会員店による良し悪しがあり、全体的には変わらない状況であった。やや好転に向いているようには感じている。

**電気工事**  
組合員の施工する電力引込線関連の工事量は+1%の前年同月比101%となった。低水準ではあるが、この傾向が続くことを期待したい。

**商店街(安芸市)**  
安芸市でのチャレンジショップ事業が3月末で終了となり、人通りが減ってしまうのではないかと心配である。

**一般貨物自動車運送**  
年度末の需要は昨年度並で、組合実績はほぼ横ばい。ドライバー不足は深刻で、確保が難しい状態が続くそう。落ち着いていた燃料価格も上昇していくとみられており、迎える新年度も厳しくなりそうである。

**商店街(高知市)**  
中央公園地下駐車場利用状況 売上:前年比112.0% 台数:前年比108.9% 中心部の地価もここ数年の下げ止まり状態から僅かではあるが上昇傾向に転じており、今後、商店街全体が活発化する投資に期待したい。

**タクシー**  
実働1日1車当りの前年同月比営業収入:99.0%、輸送回数:99.5%。当月の実働率は68.2%。

挑戦の数だけ、  
保険がある。

To Be a Good Company

TOKIO MARINE NICHIDO 東京海上日動